

報 告 書

開 催 日 時	平成23年10月17日（月） 19時00分～21時00分	
自治協議会名	矢持住民自治協議会	
開 催 場 所	矢持地区市民センター	
出 席 議 員	上田宗久、森岡昭二、渡久山カナエ、百上真奈、中井洸一	
	司 会 者	森岡昭二
	記 録 者	百上真奈
	報 告 者	渡久山カナエ
参 加 人 数	22 名（愛知県豊明市議3名含む）	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	1. 駅前ビルについて	
	・議会への報告が遅かったのは行政の失態だが、一方で常任委員会で可決したものを本議会で否決したのは前代未聞であり、議会は全国の笑い者である。	
	・契約してあるのに後からお金を出すのはおかしい。請負業者が処分するのが当たり前と考えるが、公共工事で税金を使うとなると違うのか。これでは業者のごね得ではないか。	
	・現地発掘調査をした時から出土することは分かっていたという市長・副市長の回答があった。また、文化財保護審議会会長は、行政からの問い合わせはなかったとのこと。市は議会に正確な報告をしていないことが問題である。	
	2. 矢持地区の要望より	
	①災害時、防災に関して	
	・土砂崩れ危険地域の再調査をしてほしい。治山構造物の調査は日常的に行っているが、年月が経てば崩れてくる。大変危険なので、再調査するよう市から県へ強く要望するよう伝えてほしい。	
	・一時避難所（立寄所）にしているお寺や集会所が老朽化しているので、再点検してほしい。地元で何とかせよと言われても無理な話である。	
	②腰山バイパスの早期完成を	
	・霧生までと森の里までが完成したことで、狭い腰山地内を猛スピードで車が走るようになり、高齢者の多い地区内は大変危険な状況である。事故が起きたり、死亡者が出る前に人命最優先で早期にバイパスを造ってほしい。	
	③合併浄化槽について	
	・10人集まらないと補助がおりない。市町村型をやめたら個人でしなければならず、高齢者の多い矢持ではさらに進まなくなる。環境保全のためのも補助してほしい。	

④総合危機管理室への苦情・抗議について

・災害時に孤立する13地区に対して、賞味期限30日前のものの配布案内があった。市からの手紙もどこかの文章の一部書き換えのようなもので、大変失礼なことだと思う。すぐに総合危機管理室へ抗議したが、議会としても承知しておいてほしい。

⑤議会への要望について

・市長は「行政と市民の協働」と言うが、市民の一体化とは言わない。しかし、合併後7年になろうとしている中、旧自治体枠を越えた市民同士の一体化が重要と考える。例えば、市による地域説明会は旧町村単位ですが、これでは一体化は進まない。一体化が進まなければ、小さな自治協は切り捨てられ、ますます地域格差が生じると危惧している。例えば特別施策も必要ではないか。市民の一体化、旧市町村の一体化を図るために議員や議会はイニシアチブをとってほしい。

伊賀市議会議長 様

平成23年 10月 21日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成23年度議会報告会3班

代表者 上田 宗久